

巻 頭 言

副会長 中村 弘之

我々小児歯科医は、口腔保健の原点である乳幼児期から発達期に口腔の健康づくりを行うための「子ども達のかかりつけ歯科医」となり歯科医院は「口腔健康管理センター」「子育て支援センター」として考えていく必要があります。その中で、単に齲蝕管理だけの口腔管理ではなく、口腔機能の発達を考慮に入れて、健全な咬合の完成へ、その咬合を長期に亘って維持できるような生活習慣や口腔の健康に対する価値観を持ってもらい、子ども達に口腔ケアの自立を支援する事が大切となります。このことにより、生涯の「QOL」すなわち、「一生自分の歯で美味しく食べられ、楽しく話ができ、笑える快適で充実した生活を送る」ことに繋がると考えます。

このような支援を行うために、同じ価値観と子ども達への愛情を持った力強いスタッフとの連携が必要で、これからの小児歯科学会の在り方としては、コ・ディンタルスタッフとともに研鑽を積み、日々の臨床に生かせる医院のシステム作りに繋がるものにして行う必要性があると考えます。そしてまた、単に一医院の活動だけではなく、地域医療の保健システムの中に参画し、地域医療に携わる人々と共に子ども達の健康づくりや地域社会の中での小児口腔保健の在り方や方向性を我々小児歯科医が社会にアピールしていく事が重要で、その事をサポートしていくのが、これからの将来の小児歯科学会ではないかと考えます。

今回、第22回小児歯科学会では、このような視点から、構成された素晴らしい大会で、近畿から新しい方向性を示す学会になっていると思われれます。どうか、大勢の先生方の御参加と御協力をお願い申し上げます。

## 第22回日本小児歯科学会近畿地方会大会・総会のご案内

大会長 梶本祐一郎

第22回日本小児歯科学会近畿地方会大会・総会を平成15年11月9日(日)に大阪の南、堺市の「じばしん南大阪」で開催いたします。今回は「口腔機能の獲得と維持」をテーマにともに熱く議論したいと思っております。多くの先生方およびコ・デンタルスタッフ、子供を守り育てている多くの方々にご参加いただきますようご案内申し上げます。

特別講演は東北大学名誉教授三谷英夫先生に「成長期における下顎前突の治療について」。昭和大学教授向井美恵先生に「小児期の口腔機能の支援法」と題してご講演をしていただきます。教育講演では徳島大学助教授有田憲司先生に「こどもの歯のケガについて」。下関市開業の大野秀夫先生に「カリオロジーとペリオドントロジー」と題してご講演をしていただきます。また今回、コ・デンタルスタッフセミナーとして実技指導を伴うセミナーを企画しました。

### ① MFT (筋機能療法)

カノミ矯正・小児歯科クリニック 上甲育代先生

### ② デジタルカメラによる口腔内写真の撮り方

岩崎矯正歯科 岩崎利員先生 堀美里先生

水谷美子先生 松本奈保子先生

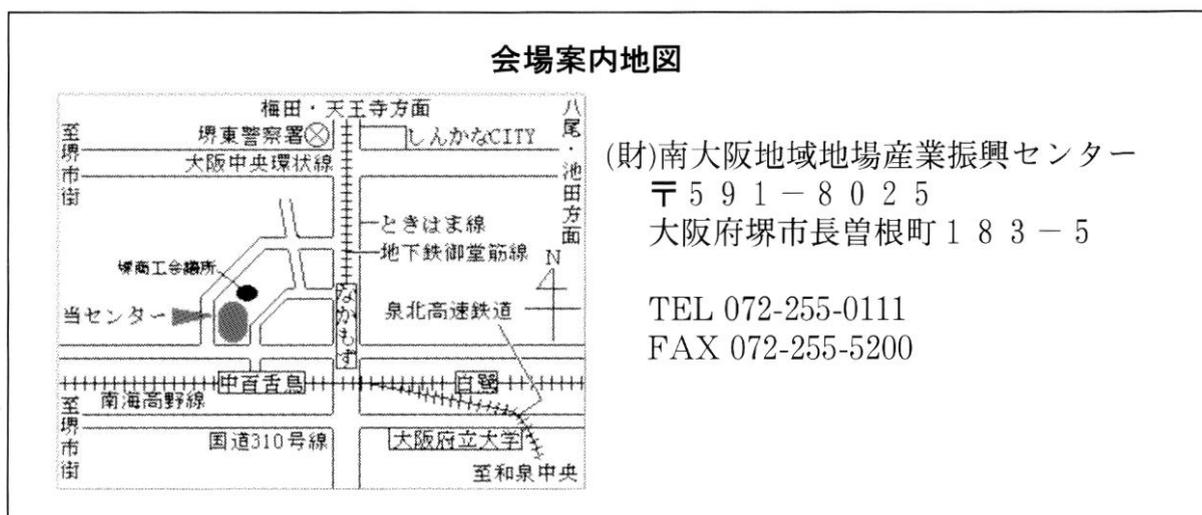
### ③ レントゲン、スライド写真のパソコンへの取り込みと保存

プラネットフィス 北村佳奈子先生 野田恵子先生

小児歯科医の医療技術の向上だけではなく、スタッフを含めた診療所全体のクオリティーの向上に必ずお役に立てて頂けると確信しております。

最後に、今回の学会は多くの団体大勢の方々のご協力、ご援助によって運営できますことを心から感謝申し上げます。

### 会場案内地図



## 第23回日本小児歯科学会近畿地方会大会に向けて

大会会長 大阪大学大学院歯学研究科  
小児歯科学教室  
大嶋 隆

この度、第23回日本小児歯科学会近畿地方会大会を担当させていただくことになりました。大会は平成16年11月7日（日）に千里ライフサイエンスセンターにて開催させていただく予定です。昨今の時代の流れはめざましく、大学病院の歯科医療におきましては厚生労働省が推進する「高度先進医療」を中心に新しい考え方、高度な技術が望まれています。このような目標をクリアするためには基礎研究による基盤が重要となるわけですが、文部科学省が選定した「21世紀COE（Center of Excellence）プログラム」の医学系分野拠点に本年度、当歯学研究科が申請した「フロンティアバイオデンティストリーの創世」が歯学部部門単独の申請では全国で唯一採択されました。従いまして、この機会に特別講演にはプロジェクトリーダーである生化学教室教授の米田俊之先生を講師としてお迎えし、口の科学の最先端について御講演いただく予定です。また、教育講演は大阪府立身体障害者福祉センター附属病院歯科医長の楽木正実先生に御講演を依頼しております。一般講演は口演と展示発表を行う予定としておりますので、学会員の皆様には多数の演題申し込みをお願い致します。

## 大阪大学大学院・歯学研究科・小児歯科学教室の紹介

本教室は昭和39年（1964年）7月に発足した歯科保存科小児歯科診療室を母体とし、昭和51年（1976年）5月に歯学部小児歯科学講座が開設、昭和52年（1977年）8月に初代教授として祖父江鎮雄先生が就任され、現在の体制の基礎ができました。その後、昭和58年（1983年）には中之島キャンパスから現在の吹田キャンパスに移転し、平成12年（2000年）に歯学部の大学院重点化に際して講座名は大阪大学大学院・歯学研究科・分子病態口腔科学専攻・口腔分子感染制御学講座（小児歯科学教室）に変更されました。この間、平成元年（1989年）には森崎市治郎助教授（現教授）のもと障害者歯科治療部も発足しました。平成14年（2002年）に祖父江教授が定年退官された後、現在は大嶋 隆教授新体制のもと新谷誠康助教授、大西智之助手、仲野道代助手以下、医員5名、研修医2名、研究生8名、大学院生8名が研究、診療、教育を行っています。また、日本小児歯科学会関係では昭和45年（1970年）と昭和52年（1977年）に例会を、平成13年（2001年）に第39回総会を担当し、近畿地方会も過去6回主催し、来年第23回大会を担当する予定です。

“虫歯の洪水”と呼ばれた時代のまっただ中に開講した本教室の診療室では、う蝕の進行抑制と乳歯冠による機能回復に重点を置く治療で始まりました。その後、局所麻酔とラバーダムを用いる基本術式を導入するとともに、母親教室から定期検診までの一連のプロトコルを確立することによって単なるう蝕の処置に埋没するのではなく、正しい永久歯列を育成するという小児歯科本来の目的を掲げることが可能となりました。それに伴ってう蝕の予防と治療だけでなく、咬合誘導が広く臨床の場に取り入れられました。現在でも初診、母親教室、担当医による治療、担当医による定期検診、年1回の担当医以外の定期検診といった基本システムに変わりはありませんが、少子化とう蝕の減少によって、若年者の歯周疾患や遺伝性の歯科疾患への関心が高まるとともに、その診断法や対応処置を次々に導入しています。平成14年度においては、近畿一円から来院される初診患者および再診患者数がともに増加し、特に紹介患者率は50%に近づいております。このことは本学小児歯科が近畿地区の拠点診療施設としての機能を果たしていることを示しており、ひとえに近畿地方会会員の先生方の御支援の賜物であると感謝致しております。

本教室における研究は上記の臨床内容の変遷と連動したものです。開講当初の研究テーマはう蝕の病因と予防であり、エナメル質脱灰過程の研究やフッ化物製剤の開発、あるいはう蝕原性細菌の病原因子の探求を押し進めていました。日本人小児より分離したミュータンス連鎖球菌の病原性の検定、う蝕活動試験の開発、実験動物を用いたう蝕誘発系の確立、う蝕原性細菌の母子伝播、パラチノースなどの代用糖の開発などにおいてめざましい成果を上げてきました。また、家族性ビタミンD抵抗性くる病患者に認められる特異な歯科症状が象牙質の形成異常に起因することも明らかにし、歯牙硬組織の形成異常に関する研究が開始されました。1990年代になるとあらゆる研究に分子生物学的手法が駆使されるようになり、現在ではグルコシルトランスフェラーゼの作用機序、各種ポリフェノールの抗う蝕作用、小児の歯周疾患の病因に関する研究、遺伝性歯牙形成不全症の原因とその発症過程の解明、歯の発生とカルシウム結合タンパクとの関連、さらには歯の分子進化などの研究が行われています。これらの業績により、平成11年（1999年）に祖父江鎮雄前教授が小児歯科学会学会賞を、平成13年（2001年）に藤原 卓講師（現長崎大学教授）、本年には新谷誠康助教授が学術賞“LION AWARD”を、また平成13年（2001年）に大西智之助手、本年に仲野和彦医員が奨励賞を受賞しました。

現在、本教室は次年度に控えた国立大学の独立行政法人化のため教育・研究システムの改革を迫られ、日夜試行錯誤の日々が続いております。この新しい環境の中でそれに対応した活動を行っていかねばなりません。本教室の「自身に責任を持ち、患児のために努力を惜しまず、地域社会に貢献し、小児歯科学の発展に寄与する」という基本的な精神に変わりはありません。近畿地方会会員の先生におかれましては、今後とも変わらぬ御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 （文責 新谷誠康）



## 平成15年度日本小児歯科学会地方大会開催日程のお知らせ

### 第21回北日本地方会大会および総会

会期：平成15年9月27日(土)

会場：山形県歯科医師会館

〒990-0031

山形市十日町2-4-35

TEL023-632-8020

FAX023-631-7477

特別講演：「20歳でカリエスフリー者率20%を目指して 臨床におけるカリエスコントロールの実践」  
熊谷 崇先生（山形県酒田市 日吉歯科医院院長）

教育講演：「小児歯科臨床におけるフッ化物応用」 丹下貴司先生（北海道医療大学歯学部小児歯科学講座助教授）

一般講演：口頭発表

ケースプレゼンテーション：認定医資格更診のための

懇親会：

会場 山形グランドホテル

日時 平成15年9月27日(土)

大会終了後

事務局：

〒990-0067

山形県山形市花楸1-21-3 加藤歯科医院内

TEL023-624-3456

FAX023-624-3324

大会長：加藤市左エ門

準備委員長：原 一恵

### 第18回関東地方会大会および総会

テーマ：「少子社会における小児歯科の役割」

会期：平成15年9月28日(日)

会場：大宮ソニックシティ・ホール棟

〒330-8869

さいたま市大宮桜木町1-7-5

TEL048-647-4111

FAX048-647-4159

特別講演：「小児期の歯科医療

- 静から動へ -」（仮題）

渡部 茂先生（明海大学歯学部小児歯科学講座教授）

基調講演：「少子社会における小児歯科の現状と将来」

川淵孝一先生（東京医科歯科大学院医療経済学分野教授）

バズセッション：

「小児科医と語ろう - 小児科医と小児歯科医の連携を求めて -」

衛生士セッション：

歯科衛生士による患者支援のあり方 ~診療室から地域へ~」

眞木吉信先生（東京歯科大学衛生学講座教授）

黒川亜紀子先生（(財)ライオン歯科衛生研究所）

一般講演：ポスター発表のみ（口頭での発表時間あり）

ケースプレゼンテーション：認定医資格更新のための

大会事務局：

〒336-0024

埼玉県さいたま市南区根岸5-14-2

諸星歯科医院内

TEL048-838-3500 FAX048-838-3858

大会長：吉田 哲

副大会長：斉藤秀子

準備委員長：諸星孝夫

## 第22回中部地方会大会および総会

会期：平成15年9月21日（日）

会場：石川県立音楽堂

〒620 - 0856

金沢市昭和町20 - 1

TEL076-232-8111 FAX076-232-8101

特別講演：

- 1 「小児歯科臨床における外傷歯の診断と治療」  
月星光博先生（愛知県開業）
- 2 「アトピー性皮膚炎医療の混乱と標準治療の確立」  
竹原和彦先生（金沢大学院医学系研究科皮膚科学教授）

公開市民講座：

「私と松井秀喜」松井昌雄先生  
（「ゴジラ松井」ことニューヨーク  
キャンキース松井秀喜選手の父上）

教育講演（歯科衛生士対象）：

「幼児の発達に対応した上手なつきあい方 - 治療の難しい子どもたち -」  
緒明佳子先生（臨床心理士：石川県嘱託相談員）

ポスターセッション：認定医更新発表を含む

事務局：

〒920 - 0203

石川県金沢市木越町ト9 - 1

近藤クリニック歯科内

TEL076 - 237 - 2211

FAX076 - 237 - 0508

大会長：和田清聡

準備委員長：近藤政子

共催：石川県小児歯科研究会

後援：石川県歯科医師会、金沢市歯科  
医師会、石川県歯科衛生士学校

## 第22回中四国地方会大会及び総会

日時：平成15年11月2日（日）

会場：愛媛県口腔保健センター

〒790 - 0014

松山市柳井町二丁目6 - 2

懇親会：

平成15年11月1日（土）午後7：00松  
山全日空ホテル

大会内容：

1. 総会
2. 特別講演 I 「小児の歯科治療を安全に行うために - 口腔外科の立場より -」  
香川医科大学医学部歯科口腔外科学講座教授 長島駿一郎先生  
特別講演 II 「小児のことばの発達と障害」  
広島大学歯科部附属病院特殊歯科総合治療部言語治療室 藤原百合先生

3. 一般講演

大会会長：須之内淳二（愛媛県歯科医師会会長）

準備委員長：田窪修（愛媛県歯科医師会学術部長）

担当責任者：香西克之（広島大学大学院教授）

## 第21回九州地方会大会および総会

テーマ：「地域を育てる小児歯科」

会期：平成15年11月13日（木）

会場：長崎県歯科医師会館

〒852 - 8104長崎市茂里町3 - 19

TEL095-848-5311 FAX095-846-0175

基調講演：

- 1 「加齢と発達にかかわる歯科臨床を通して考えること」  
角町正勝先生（長崎市 つのまち矯正・小児歯科医院）
- 2 「口腔機能と心の発達支援 - 口を育てる医療（口腔育成）から口から育つ心と身体の支援（口腔成育）へ」  
佐々木洋先生（東京都 UTAKA DENTAL OFFICE）

教育講演：「う蝕の病因論から見た小児の口腔衛生指導」

藤原 卓先生（長崎大学大学院医歯薬総合研究科教授）

特別研究報告：「長崎市における地域う蝕予防管理システム研究事業結果と考察」

川崎浩二先生（長崎大学医学部付属病院地域医療センター助教授）

パネルディスカッション：

「地域を育てる小児歯科」

座長 有田信一（長崎市 ありた小児矯正歯科）

事務局：

〒852 - 8588

長崎市阪本町1 - 7 - 1

長崎大学医療科学専攻 発生分化機能再建学 小児顎口腔発達管理学分野（歯科小児歯科）内

TEL095 - 852 - 8588

FAX095 - 849 - 7675

大会長：角町正勝

準備委員長：有田信一

顧問：藤原 卓